がん予防・がん補助治療における

免疫療法

多角的に免疫機能へアプローチする先進的治療

免疫は本来、体内で発生する異常細胞（がん細胞）を監視・排除する重要な役割担っています。
当院では、この免疫機能を多面的に活性化することで、**がんの予防および補助的治療を目的とした免疫療法**を行っております。

■ 当院の免疫療法の特徴

当院では、単一の免疫細胞に限定せず、複数の免疫細胞を組み合わせた多角的アプローチを行っています。これにより、**直接的な腫瘍攻撃、免疫全体の活性化、がん免疫監視機構の強化**を同時に図ることが可能です。

■ このような方におすすめです

- がんの予防を目的とされる方
- がん治療後の再発予防を希望される方
- 標準治療と併用した補助療法を検討されている方
- 免疫力の維持・向上を図りたい方

■ 主な治療内容

NK 細胞療法

がん細胞を直接攻撃する自然免疫の中心的役割を担う細胞です。腫瘍細胞に対する即時的な攻撃力を高めます。

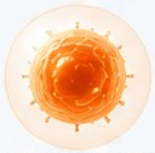
αβT 細胞療法

免疫の司令塔として働くT細胞を活性化させ、免疫応答全体の強化と持続的な抗腫瘍作用を促します。

γδT 細胞療法

自然免疫と獲得免疫の橋渡しを担う細胞であり、幅広いがん細胞に対する認識能力を有します。

NKT 細胞療法



免疫調整機能と抗腫瘍効果の両方を担い、免疫バランスを整えながら抗がん作用を発揮します。

樹状細胞療法

抗原提示細胞として、がん細胞の情報を免疫系に伝え、特異的な免疫応答を誘導します。

治療のリスク・副作用

本治療は患者様ご自身の細胞を用いるため、比較的安全性の高い治療とされています。
一方で、以下のようなリスクや副作用が生じる可能性があります。

- **発熱・悪寒**：一時的に発熱や悪寒を伴うことがあります。
- **倦怠感・だるさ**：治療後に疲労感を感じることがあります。
- **頭痛**：軽度の頭痛を生じることがあります。
- **吐き気**：まれに吐き気を伴うことがあります。
- **注射部位の反応**：赤み、腫れ、痛みなどが出ることがあります。
- **アレルギー反応**：まれにアレルギー症状（発疹、かゆみ、息苦しさなど）が起こる可能性があります。

※これらの症状は一過性で軽度なものが多く、適切な対処により速やかに改善します。

※既往歴や現在の体調、使用する細胞の種類により、リスクの程度は異なります。

治療費用

各治療 90万円（税抜き）

上記は各治療1回あたりの費用です。治療回数やスケジュールについては、患者様の状態に応じて個別にご提案いたします。

再生医療等提供機関	管理者	再生医療等の名称	認定再生医療等委員会	計画番号	受理日
東京昭和医院	前田　真吾	がんに対するαβT細胞を用いた免疫機能改善治療	一般社団法人細胞免疫学研究会認定再生医療等委員会	PC3260073	2026/06/29
東京昭和医院	前田　真吾	がんに対するγδT細胞を用いた免疫機能改善治療	一般社団法人細胞免疫学研究会認定再生医療等委員会	PC3260072	2026/06/29
東京昭和医院	前田　真吾	がんに対するNK細胞を用いた免疫機能改善治療	一般社団法人細胞免疫学研究会認定再生医療等委員会	PC3260071	2026/06/29
東京昭和医院	前田　真吾	がんに対する樹状細胞を用いた免疫機能改善治療	一般社団法人細胞免疫学研究会認定再生医療等委員会	PC3260070	2026/06/29
東京昭和医院	前田　真吾	がんに対するNKT細胞活性化樹状細胞を用いた免疫機能改善治療	一般社団法人細胞免疫学研究会認定再生医療等委員会	PC3260069	2026/06/29

※本治療は再生医療等安全性確保法に基づき、認定再生医療等委員会の審査を受けた計画に沿って実施しています。

当院のスタンス

当院では、免疫療法を標準治療の代替ではなく、補助的な治療選択肢の一つとして位置づけています。
患者様一人ひとりの状態に応じて、最適な治療の組み合わせをご提案いたします。